

レポート試験問題

【問題文】

Society 5.0 は第 5 期科学技術基本計画(2016)において内閣府が提唱した概念であり、日本が目指す未来社会の姿を端的に表したものである。Society 5.0 は狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く、サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させた社会を指している。Society 4.0 が情報共有・発信における革新であったのに対し、Society 5.0 は AI、ロボティクス、VR・MR 等の技術と、これらによって集積されるビッグデータの解析によりあらゆる社会課題の解決を図り、産業や社会生活の変革を目指すものである。一方で、社会の大きな変革は我々の生活に恩恵をもたらすだけではなく、従来の生活を脅かす負の側面も持ち合わせる。そうした負の側面を受け入れながら、人とモノがつながる未来社会とはどのようにあるべきか。各自で特定の分野 (交通、医療・介護、ものづくり、農業など) を設定し、Society 5.0 の浸透によってどのような変革がもたらされ、どのような負の側面が生じ得るかについて論じた上で、負の側面を解決するためのアイデアを提案せよ。

資料

Society 5.0 - 科学技術政策 - 内閣府

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

以上